

- ・海難情報の早期入手体制及び人命救助体制の充実・強化により、救助率向上を図り救助率95%以上を確保
- ・ライフジャケットの着用推進等により、自己救命対策を強化



## 早期入手体制の強化



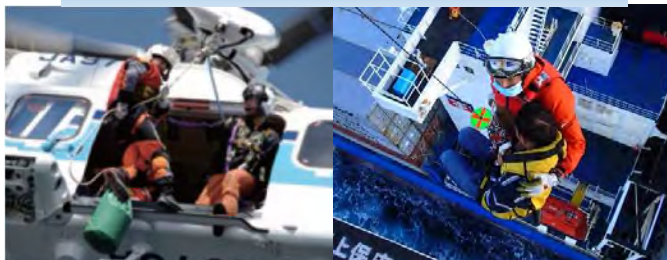
(5機の衛星を利用)



(70機以上の衛星を利用)

海難救助を迅速かつ的確に行うためには、海難の情報を早期かつ正確に収集する必要があることから中軌道衛星を利用した新システム(MEOSARシステム)への移行により、迅速かつ的確な情報通信体制の構築を図る。

## 迅速な救助活動



ヘリコプターの機動性、高速性等を活用した機動救難体制の拡充によるレスポンスタイムの短縮、救急救命士による高度な救急救命体制の充実を図るとともに、関係省庁及び民間救助団体と連携した救助・救急活動の円滑化を推進する。

## ライフジャケットの着用



関係省庁、地方自治体及び関係団体と連携し、より一層の自己救命策確保の指導・啓発に取り組むとともに、海の事故ゼロキャンペーン等を活用した周知により、ライフジャケットの着用効果等についての理解とその着用の徹底を図る。